

# やまざとで暮らす喜び、楽しさがいっぱい

## 上越やまざと暮らし応援団発行のブックレット

大島区田麦の農家民宿「うしだ屋」さんで話題のブックレット「やまざとに暮らして（4つの移住物語）」を入手し、一気に読みました。ひと言でいうと、「喜びと楽しさがあふれている」ブックレットです。

天明伸浩さん。いろんな分野で頑張っている忙しい人ですが、「ゆったりとした気持ちで暮らす」達人だと私は思っています。何よりも家族を大事にして一緒に時間を多くとる、近くの山などに登る、星空を観察する、小鳥たちの声を楽しむなど、やまざとでの暮らしの楽しみ方を熟知しているのにはびっくりです。ブックレットには紹介してありませんが、お連れ合いの描くイラストと文章も素晴らしい。

たましぎ農園の嶋谷幸彦さんと玉実さん。第一印象は、幸彦さんは「楽しい人」、玉実さんは「写真が上手で、美的なセンスの持ち主」でした。農家になって、もう7年も経ったんですね。2人とも持ち味を活かしながら、地域に溶け込んでいます。農産加工所では、子連れ出勤すると、「一緒に働く村のお母ちゃん

たちは競っておんぶしたがり、面倒を見たがり、可愛がってくれた」なんて、最高です。

えこ健もりもり農場の石川盛和さん。今冬の大雪で長時間停電になった時、地域の皆さんと楽しく過ごしている素敵な写真をフェイスブックで発信しました。その写真で石川さんの魅力を再発見しました。「天然の人間」と言ったら怒られるかな。「天然の水を飲み、自分たちで作った味噌汁と減農薬の米を食べ、暗くなったら休む」。この境地がどこから来たのか石川さんの文章を読み、詳しく知ることができました。

うしだ屋の牛田詩歩さんと光則さん。2年ほど前、田麦で数十年ぶりに嫁入り行列を再現したことが忘れられません。花嫁姿の詩歩さんの美しかったこと…。その詩歩さんが田んぼをやり、農家民宿のお母さんをやっている。そして光則さん、プナ林観察ツアーで植木務さんに替わってガイド役を務め、植物や田麦の歴史についても語りました。その時、光則さんは、やまざと暮らしの案内人をやれる人だと思いましたが、その通りでし



た。これから、うしだ屋さんの取組が楽しみです。

このブックレットは全体で27ページという短さです。それでいながら、初めて中山間地で暮らそうという人にとってはヒントがいくつもあります。いま、住んでいる人たちにとっても、足元の暮らしの魅力をとらえ直すことができる冊子になっているのではないのでしょうか。

「慌てながら四季を惜しんで楽しんでいる」など、登場する人たちの筆力には圧倒されました。ぜひ読んでみてください。



【ニシキゴロモ】シソ科の多年草。漢字で「錦衣」と書きます。別名はキンモンソウ。花期は4月から6月。小型の唇形で、淡紅白、地域によっては紫色もあります。花言葉は、「あなたを待っています」。写真は4月20日、吉川区小苗代にて撮影しました。



直江津は三八市通りにある真宗大谷派寺院、聴信寺の掲示板がこのほど張り替えられました。「他人なんてどうでもいい 私も誰かの他人なのに」。なかなか奥が深い言葉ですね。



日本共産党議員団主催の市政報告会は29日14時から市民プラザで行います。感染症対策をキチンとやりますので、ぜひお出かけください。  
ゼンマイ干し風景が見られる季節になりました。写真は、大島区竹平にて撮影しました。

# はしづめ法一の活動レポート

No.2008 2021.4.25

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# やまざとで暮らす喜び、楽しさがいっぱい

## 上越やまざと暮らし応援団発行のブックレット

大島区田麦の農家民宿「うしだ屋」さんで話題のブックレット「やまざとに暮らして（4つの移住物語）」を入手し、一気に読みました。ひと言でいうと、「喜びと楽しさがあふれている。」ブックレットです。

天明伸浩さん。いろんな分野で頑張っている忙しい人ですが、「ゆったりとした気持ちで暮らす」達人だと私は思っています。何よりも家族を大事にして一緒に時間を多くとる、近くの山などに登る、星空を観察する、小鳥たちの声を楽しむなど、やまざとでの暮らしの楽しみ方を熟知しているのにはびっくりです。ブックレットには紹介してありませんが、お連れ合いの描くイラストと文章も素晴らしい。

たましぎ農園の嶋谷幸彦さんと玉実さん。第一印象は、幸彦さんは「楽しい人」、玉実さんは「写真が上手で、美的なセンスの持ち主」でした。農家になって、もう7年も経ったんですね。2人とも持ち味を活かしながら、地域に溶け込んでいます。農産加工所では、子連れ出勤すると、「一緒に働く村のお母ちゃん

たちは競っておんぶしたがり、面倒を見たがり、可愛がってくれた」なんて、最高です。

えこ健もりもり農場の石川盛和さん。今冬の大雪で長時間停電になった時、地域の皆さんと楽しく過ごしている素敵な写真をフェイスブックで発信しました。その写真で石川さんの魅力を再発見しました。「天然の人間」と言ったら怒られるかな。「天然の水を飲み、自分たちで作った味噌汁と減農薬の米を食べ、暗くなったら休む」。この境地がどこから来たのか石川さんの文章を読み、詳しく知ることができました。

うしだ屋の牛田詩歩さんと光則さん。2年ほど前、田麦で数十年ぶりに嫁入り行列を再現したことが忘れられません。花嫁姿の詩歩さんの美しかったこと…。その詩歩さんが田んぼをやり、農家民宿のお母さんをやっている。そして光則さん、ブナ林観察ツアーで植木務さんに替わってガイド役を務め、植物や田麦の歴史についても語りました。その時、光則さんは、やまざと暮らしの案内人をやれる人だと思いましたが、その通りでし



た。これから、うしだ屋さんの取組が楽しみです。

このブックレットは全体で27ページという短さです。それでいながら、初めて中山間地で暮らそうという人にとってはヒントがいくつもあります。いま、住んでいる人たちにとっても、足元の暮らしの魅力をとらえ直すことができる冊子になっているのではないのでしょうか。

「慌てながら四季を惜しんで楽しんでいる」など、登場する人たちの筆力には圧倒されました。ぜひ読んでみてください。



【ニシキゴロモ】シソ科の多年草。漢字で「錦衣」と書きます。別名はキンモンソウ。花期は4月から6月。小型の唇形で、淡紅白、地域によっては紫色もあります。花言葉は、「あなたを待っています」。写真は4月20日、吉川区小苗代にて撮影しました。



日本共産党議員団主催の市政報告会は29日14時から市民プラザで行います。ぜひお出かけください。

今年が郵政創業150年です。上の写真はそばにツワブキ（花言葉は「困難に負けない」）がある柿崎病院玄関脇のポスト。このポストからも様々な思いが書かれた便りが発信されてきました。



直江津は三八市通りにある真宗大谷派寺院、聴信寺の掲示板がこのほど張り替えられました。「他人なんてどうでもいい 私も誰かの他人なのに」。なかなか奥が深い言葉ですね。

# はしづめ法一の活動レポート

No.2008 2021.4.25

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見たある記」は ← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第六五五回

## リモート面会

晩生（おくて）のヤマザクラも散り始めたある日の午後、一年二か月ぶりに叔父が入所している介護施設へ行ってきました。今回の目的は叔父と会い、元気がどうかを確認し励ますことが第一です。それともう一つありました。叔父と従妹（いとこ）との面会をスマートフォン（スマホ）を使って実現させたいと思っていました。

前回、叔父と会ったときに、「春になったら、家へ連れて行くよ」と約束していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響がいまも続き、家に帰るのは不可能です。

ならば、叔父の子どもたちのうちの誰かとリモート（遠く離れた）面会を実現させて、叔父を喜ばせてあげたい、そう思っていました。

施設と約束していた時間は午後一時です。正面玄関のガラス戸越しでの面会を許可してもらっていました。

約束の時間に行くと、施設のスタッフの方が、玄関まで叔父を連れてきてくださいました。叔父は私の姿を見るなり、「ニコニコして、「よー、どうもどうも。まあ、よく来てくれたね」と言いました。

スタッフの方が「タナカさん、誰だかわかる？」と叔父にたずねると、「ハシツメノリカズさん」という言葉を返しました。

ああ、よかった、よかった。元気でよかった。ふだんは私に対して使っていない「さん」付けでしたが、叔父の口から私の名前がすぐ出てきました。会話もできます。

「おうちのばちゃんも元気だね。九七になっただ」

「はー、えらい」

「かんべんしてくんないね、一年以上もらんねくて……」

「それどころじゃねえ」

声は少し小さくなったものの、ガラス越しでも、叔父との会話はちゃんとできます

た。私が少し気になったのは叔父の顔です。九五歳という高齢のせいかわ、前回会った時よりも少し細くなっていました。

さて、従妹とのリモート面会ですが、スマホの操作ミスなのか、最初はうまくいきませんでした。施設をいったん離れ、再び施設の正面玄関で実現したのは、午後一時二〇分頃だったと思います。

スタッフの方が呼びに行き、再び叔父が出てきました。私の顔を見て、「さっき来た人だねかね」とびっくりしていました。

私は叔父が歩いてくる方向にスマホを向け、従妹に、「いま来るよ、声、聞こえた？」と聞くと、「ありがとございませう。お父さん、来てるのかしら。あー、来て、来て」という声がスマホから聞こえてきました。そして、大きな声で、「お父さん」と呼び声が二度もしました。

私は涙をこらえながら叔父に「ほら、フミちゃんだよ」と声をかけました。叔父は「ほー」だか、「おー」だか声をあげて喜びました。

「お父さん、かんべんね。ご無沙汰していてごめんさい」

「大丈夫」

「元気だねー」

「元気だよ。涙、出てくるわ、おれ……」

従妹は続いて、叔父に植木鉢らしいものを見せて、

「お父さん、この花、わかる？」

「わからん」

「これ、シロジネ、お父さん、くれたの。大事にしているからね」

スマホの画面を見ると、緑色の葉っぱが寄っていて、その脇から白く、可憐な花が鉢からこぼれるように咲いていました。

わずか三分ほどのリモート面会、長期間会えなかった親子の会話となりました。終了後、私が「ああ、よかった」というと、叔父も「最高！」と言ってくれました。

## 結成3年目のピアス、春風のようなさわやかライブ

### ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月14日(水)	4月21日(水)
上越南消防署	0.053	0.050
上越北消防署	0.050	0.040
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.077	0.060
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.063	0.053
高士分遣所	0.057	0.050

頸北4区及び柏崎市在住の5人で結成している音楽グループ、「ピアス」の結成3周年チャリティライブが18日、柿崎コミュニティプラザで行われました。会場では、きちんとした新型コロナ対策がとられ、運営されていました。

同グループの歌は尾神岳でのコンサートや昨年12月のホットホットコンサートで聴いてきました。とても素敵なグループです。とくに私が気に入っているのは、オリジナル曲、「あまだれ」です。この日は、忙しい日ではありましたが、同曲を作詞、作曲した柏崎市在住の中村明臣さんが来られるということで最優先しました。

ライブでは、歌にぴったりの色の照明のなか、「春の風が吹いていた」「あまだれ」「私の青空」など

の歌をたっぷり聴きました。たこ焼き屋さんのコマーシャルソングも披露されました。ゲスト参加のサックス奏者の山崎伸さんの演奏はみんな素敵でしたが、この冬に結婚した娘さんの式でも演奏されたという「家族になろうよ」という曲が一番、心に響きました。

ライブは久しぶりに聴きました。やはり暮らしに音楽は必要ですね。5月15日は、柿崎の浄善寺で18時から雅楽、歌、サックスのコンサートがあります。出かけてみませんか。

